公共交通機関のリアルタイム混雑情報提供システムの 導入・普及に向けたあり方についての検討会



資料2

設置趣旨

公共交通機関の利用と新型コロナウイルスの感染拡大防止の両立を図る観点から、混んでいる車両を避けた移動が可能となる環境の整備に向け、過去の運行状況等に基づく混雑予測に加え、車内のリアルタイムな混雑情報の提供により、利用者の行動変容を促し、利用の分散を図る仕組みが効果的であると考えられるため、所要の項目について検討を行い、導入・普及に向けたガイドラインを取りまとめる。

メンバー

【有識者】

石田 東生 筑波大学 特命教授(座長)

落合 孝文 渥美坂井法律事務所・外国法共同事業 パートナー弁護士

越塚 登 東京大学大学院情報学環 学環長・教授

坂下 哲也 一般財団法人日本情報経済社会推進協会 常務理事

須田 義大 東京大学生産技術研究所 教授

田丸 健三郎 一般社団法人AIデータ活用コンソーシアム 理事・副会長

日高 洋祐 一般社団法人JCoMaaS 事務局長

【オブザーバー】

<バス>公益社団法人日本バス協会、十勝バス(株)、 (株)みちのりHD、関東鉄道(株) 京阪バス(株)、西日本鉄道(株)

<経路検索〉(株)ヴァル研究所、(株)駅探、ジョルダン(株)、(株)ナビタイムジャパン

<システム> (株) Will Smart、技研トラステム(株)、BOLDLY (株)、モバイルクリエイト(株) ヤフー(株)、(株)小田原機器、レシップ(株)、NECネクサソリューションズ(株)

(株)両備システムズ、(株)ユニ・トランド

【行政】

国土交通省

総合政策局 交通政策課・地域交通課・モビリティサービス推進課・技術政策課・情報政策課

都市局 都市計画課都市計画調査室 道路局 企画課評価室

鉄道局総務課企画室・都市鉄道政策課自動車局総務課企画室・旅客課

個人情報保護委員会事務局

開催状況

〈第一回〉 令和2年7月7日

〈第二回〉 令和2年7月30日

〈第三回〉 令和2年8月31日 (ガイドライン骨子案)

〈第四回〉 令和2年9月16日 (ガイドライン案)

リアルタイム混雑情報提供システムの導入・普及に向けたガイドライン(バス編)



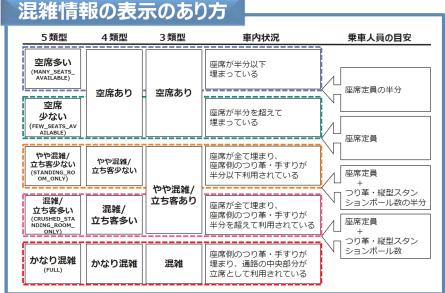
- 新型コロナウイルスの感染拡大防止を図りつつ、安心・安全に公共交通機関を利用してもらうためには、 **感染拡大予防ガイドラインや、新しい生活様式の内容に沿って行動**していくことが基本
- 利用者がより自主的に、正しく混雑を回避して公共交通機関を利用するよう行動変容を促すためには、 利用者側の判断に必要となる混雑に関する情報を積極的に提供していくことが重要
- **→ リアルタイムな混雑情報の提供に取り組もうとするバス事業者が留意すべき事項を整理**

整理した事項

- 混雑情報の計測手法
- 利用者への混雑情報の提供手法
- 混雑情報の表示のあり方
- ▶ 混雑情報のデータ形式

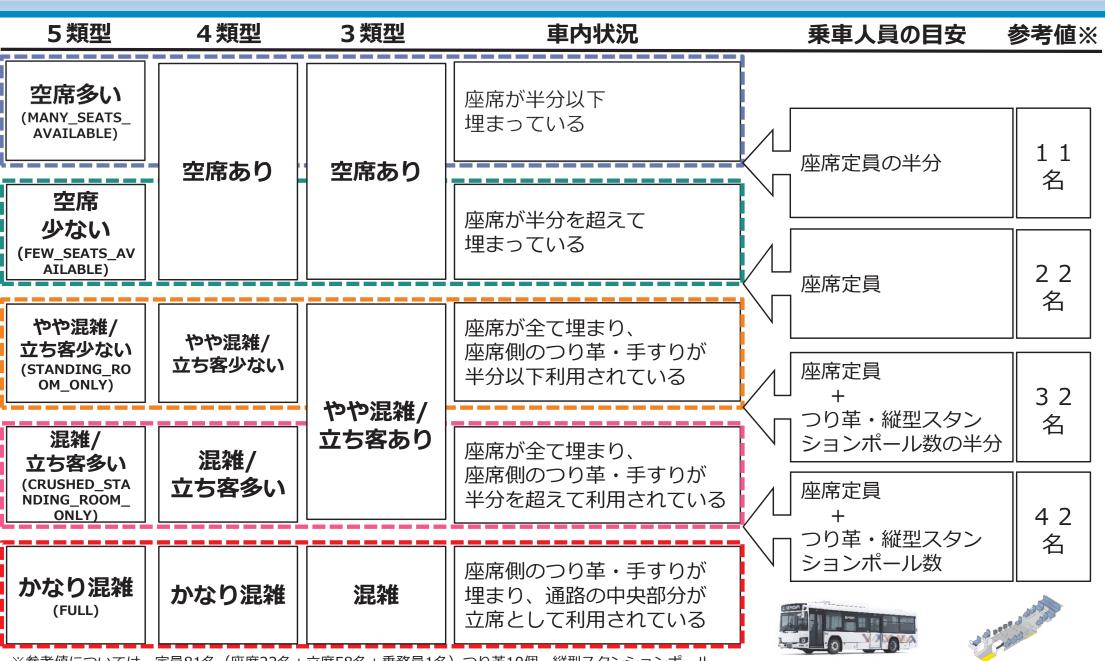
- ▶ データ利活用のあり方
- データ利活用に当たっての個人情報保護
- 混雑情報取得に当たっての利用者への告知方法
- 混雑情報提供の導入・普及促進に向けた取組





混雑情報の表示のあり方





※参考値については、定員81名(座席22名+立席58名+乗務員1名)つり革10個、縦型スタンションポール 10本の車両の場合の想定であり、実際は車両毎に車内状況に応じた適切な値(人数)を設定する。

(出典) ISUZU HP https://www.isuzu.co.jp/product/bus/erga_rt/erga_rt.html